

進藤 優子 SHINDO Yuko

研究分野：国際経済学，公共経済学

キーワード：経済成長，人的資本，シミュレーション



研究トピックス：

内生的経済成長の理論研究とシミュレーション分析

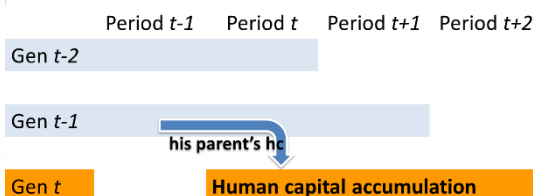
研究の要旨：

人的資本が内生的に成長する世代重複モデルの理論研究と数値シミュレーションが専門です。特に教育に対する公財政支出が経済成長および格差へどのように影響をあたえるのかを明らかにすることに関心があります。また、消費税や年金保険料などが変化した場合における経済成長および格差に関するシミュレーション分析も行っています。

最近では、労働移動に関する研究に関心を持っており、ゼミ生と高度外国人材に関する共同研究を行いました。過去には、ゼミ生と一緒に経済学を応用した組織設計に関する共同研究を行ったこともあります。研究者になる以前の国際開発の現場での勤務経験を活かし、ゼミ生とNPO 法人とソーシャルビジネスに関する共同研究を行ったこともあります。



共著テキスト



人的資本が内生的に成長する
世代重複モデルの例

主な関連業績：

- ソリューションフォーカスによる同僚効果—組織文化の異なる4社の事例分析—，松永朋子氏（2017年度修士了生）との共著，山口県立大学大学院論集，18，pp.23—33，2017.
- 外国人留学生のための地方の労働市場—山口県および昌原市における企業調査比較分析—，柳蘇賢氏（2018年度修士了生）との共著，ウェブマガジン『留学交流』，90，pp.12-22，2018.

[教員紹介へのリンク](#)

[教員データベースへのリンク](#)